

しべっ川

No.283号

標津町教育委員会 生涯学習課 TEL 0153-82-2900

SHIBETSU



「すごしやすい学校づくり リーダー会議」を開催!

と き：令和5年12月26日(火) 9時20分～11時40分

と ころ：標津町生涯学習センターあすばる 多目的ホール

インフルエンザの流行で、実施が危ぶまれた標記会議ですが、町内小中高校生の児童会・生徒会の役員20名が集い、何とか開催することができました。今回は「Be a HEROプロジェクト」の新保友映アナウンサーをお招きし、「いじめの構造」について科学的に学んだ上で、「真に過ごしやすい学校をつくっていくためにこれからどうするか」について考え、行動宣言として決意を発表してくれました。

「HERO」とは、「Help:助ける、適切にSOSを出して助けてもらう」「Empathy:相手の気持ちに共感する」「Respect:自分と同じぐらい相手を尊重する」「Open-Mind:広い心をもつ」の頭文字をとったもので、正しい行動をとってカッコいい姿を示していこうという運動です。

子ども達だけではなく、大人の世界にも「アンバランス・パワー」は存在します。子ども達が安心して生活できる環境づくりを支援するだけではなく、一人一人が住みやすい町づくりを意識していきたいものです。

【参加者の感想から】

- 小学生：行動宣言したことを心がける①すぐ大人の人に相談する。②相手のことを考える。③一人ぼっちの人に声をかける。④自分が困っているなら伝える。
- 中学生：まず周りの人に知らせるといことを頑張っていこうかなと思いました。なぜなら、自分だけが情報を知っていたとしても、みんなで協力するということができないからです。
- 高校生：今回学んだ「H・E・R・O」を意識して生活する。また周りの大人も巻き込む。(生徒たちだけでは解決できないこともあるかもしれないから)

晴れやかに「二十歳のつどい」を開催!

新春にふさわしい晴天の下、令和6年1月7日(日)に第2回二十歳のつどいを開催しました。第26代標太(茅原歩夢さん)・津々(高橋七海さん)の発表及び半纏の継承に引き続き、参加者38名が一人ずつステージに上がり、将来の夢やこれからの抱負を述べました。続いて山口町長による「多様性の時代を生き抜いていくために、様々なチャレンジを」という激励があり、懐かしい先生方からのビデオメッセージが流されました。最後は、サプライズゲストのバッファロー・ソルジャーの熱演に大いに盛り上がり、実行委員長の木村悠人さんより「これからも人との関わりを大切にしながら、自分自身も誰かの支えになれるような社会人を目指して日々精進してまいります」という決意と感謝のスピーチがありました。





標津町中学生弁論発表大会

標津町教育研究所は11月21日、令和5年度標津町中学生弁論発表大会を、町生涯学習センターあすばるで開催しました。本大会で最優秀賞を受賞した、標津中学校3年 遠藤 菜々瀬さんの発表をご紹介します。

音響奏和～目標を叶えるために～

標津中学校 3年 遠藤菜々瀬

私は吹奏楽部に所属して8年が経ちます。私は、音楽が好きです。吹奏楽が大好きです。顧問の先生、メンバーの事が大、大、大好きです。

こんなに私の好きであふれている部活動ですが、私達は1年に1度、その年の目標を決めています。そして、今年目標は「音響奏和～最高のコンディションでステージを制す～」です。「音と響きが互いに調和し、ステージを私達のものにして、お客さんの心に届ける」という意味が込められています。この目標を達成するには、具体的に何をすれば良いのか。また、部活にとどまらず、チームで何かを成し遂げる時に、どうすればうまくいくのか。このふたつについて考えていきたいと思えます。

先ほど私は部活が大好きと伝えましたが、辛いこともたくさんあります。吹奏楽部はいわゆる「文化部」ではありますが、休日の練習では、ランニングをしてたくさん汗を流します。そして、全員がレギュラーなので、常に集中力が必要とされます。吹奏楽は1日休むと3日分戻ると言われているので、休みの日にも楽器を持ち帰って練習したりする人もいます。

このように決して「楽」とは言えない部活ではありますが、私はなぜこんなに大好きで、モチベーションが高い状態なのか考えてみました。すると、一緒にいると笑顔になれる大切なメンバーと先生の顔が浮かび上がってきました。私が伝えようとしていることを一生懸命理解して、努力をし続けている後輩達、今はもうご卒業されたけど、いつも味方で優しく教えてくださった先輩方、どんな時も全力で8年間を共にしている同級生、そして私達のために全力で教えてください、サポートし続けてくれる先生方。私はこんなに多くの人に支えられているのに、気を抜くことなど頭によぎるわけがありませんでした。そこで私は思いました。チームで目標を達成する以前にメンバーがそろわなくてはならない。当たり前のことに感じるかもしれませんが、全員が同じ熱量でないと、毎日集まる気にはならないと思えます。みなさんも実際にこのような場面があるのではないのでしょうか。だから、私は全員が笑顔で安心できる環境を作るべきだと考えます。

次に私が大事だと考えたのは、一人一人が持つ責任感です。部活動であれば、1年生と3年生では背負っているものが違って当然です。班活動であれば、リーダーが背負うものの方が大きいことでしょう。ですが、ずっとその気持ちのままでは、互いの意見にすれ違いができて、同じ方向に向かっていくのが難しくなるかもしれません。そう思った時、私はひとつの記事を見つけました。

今年、世界一となった侍ジャパンの監督、栗山英樹さんは、あえてキャプテンを決めませんでした。その理由は、「全員、『俺がキャプテンだ』と思ったらプレーが変わるはず」と考えたからだそうです。選手達には「チームを引っ張る気持ちでやってください。年齢も、実績も関係ない。」と伝えたそうです。「自分の役割を前向きにとらえ、このチームには自分がないとダメなんだ。」と思うことができれば責任感をもって活動することができると、私は思いました。勿論、責任感が強いプレッシャーに変わってしまったら体調を崩す原因となってしまうだけなので、あくまでも物事を前向きに捉えることを忘れないでください。

そして、最後に私が一番実践してほしいと思うことです。それは目標を声に出したり、発信することです。きっと世界のどこかには、自分と同じ夢や目標を持っている人や応援してくれる人がいます。それが友達なのか、家族なのか、知らない国の誰かなのかは分かりませんが、発信しないと誰にも伝わりません。発信することによって「有言実行のために頑張ろう！」という気持ちに変わってくるし、叶った時のチームでの喜びも倍になることでしょう。もし、叶わなかったとしても、その目標のために行ってきたものは、最強の武器になるのではないのでしょうか。だからたくさん夢や目標を声に出してみてください！

今回は、内面から変わるものばかり紹介しましたが、気持ちだけで物事が上手く進むわけではありません。そして、たくさんの努力が必要です。私は「音響奏和」という目標を全ての演奏できる機会達成することができたと思えます。私は、今後も目標に向かって努力を惜しまず全力を尽くしていきます！

みなさんの目標がひとつでも叶いますように。

子どもたちの日常の姿を知るための「生活習慣アンケート調査」結果

標津町生徒指導連絡協議会（令和5年度川北中学校事務局）は、毎年9月に「標津町の子どもたちの生活習慣に関するアンケート調査」を行っています。この調査結果を分析し、園、学校で指導に生かし、家庭との連携を図って改善に努めています。調査対象は、こども園4歳児から標津高校3年生までで、有効回答数は480名です。低年齢児については、保護者に回答していただいています。
 今回の調査結果について、成果（○）課題（●）となる点を中心に報告いたします。

《設問1》 平日の基本的な生活習慣について

（1）起床時刻について

- 町全体の81%が「朝7時までに起床」しています。特に、園児・小学生は早起きです。
- 「朝7時以降に起床」する子どもは、全体で93人いました。そのうち「朝7時半以降に起床」する子どもは、各学年に1名程度の17人ですが、登校時刻ぎりぎりの様子です。

（2）起床方法について

- 町全体の63%が「自分で起床」しています。特に中3以上は、ほぼ全員自力で起床しています。
- 小4以下に「起こしてもらおう」子どもが多く、特に小1は76%です。早めの自立が望まれます。

（3）就寝時刻について

- 町全体では、子どもの発達段階に合った就寝時刻が守られています。
- 学年が上がるにつれて就寝時刻が遅くなっています。中1から11時以降に就寝する子どもが増加し、高校生の34%が午前0時以降に就寝しています。心身の成長に必要な、適切な睡眠時間を確保しなければなりません。

（4）起床就寝の習慣について

- 町全体の90%が「規則正しい起床就寝の習慣」が身に付いています。
- 小4の30%、小6の24%、高校生の20%が「起床就寝時刻が不規則」と回答しています。

（5）朝食の様子について

- 町全体の85%が、毎日朝食を食べています。
- 「朝食を食べない」と回答をした子どもが、小5から高2まで20人いました。特に、高2の30%が食べないと回答しました。理由は「時間がない」「食欲がない」「食べたいものがない」「具合が悪くなる」「面倒くさい」等でした。1日を元気に過ごすための活動エネルギー不足が心配です。

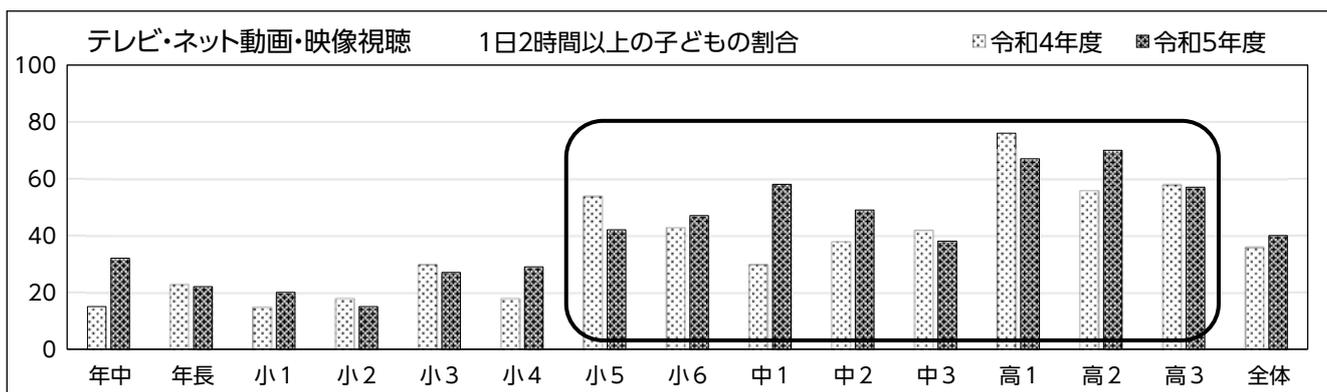
（6）歯磨きの回数について

- 町全体では、「食後必ず磨く」が37%、「食後2回」が53%でした。
- 「食後1回」が10%、「磨かない」が1%でした。むし歯予防のために、「食後必ず磨く」習慣を身に付ける必要があります。

《設問2》 平日の家での時間の使い方

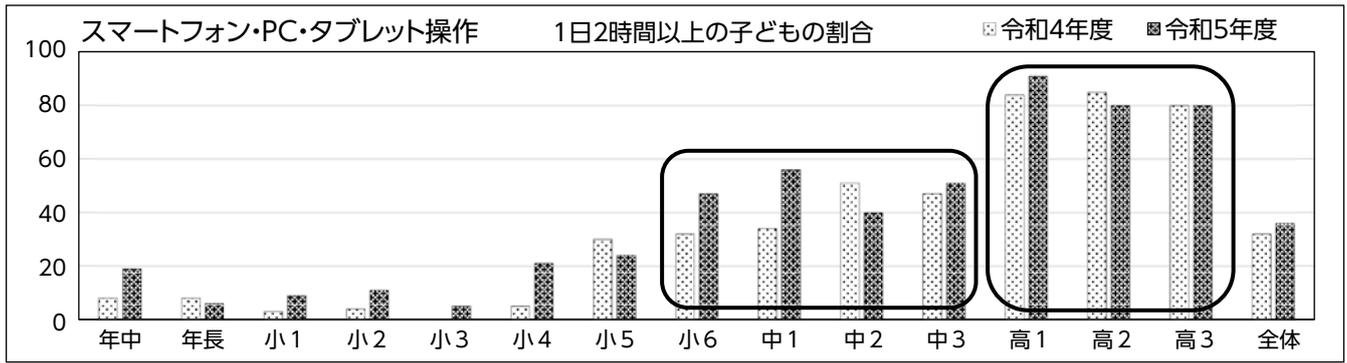
（1）テレビ・ネット動画等の映像視聴時間について

- ・小5から視聴時間が増加し、特に中1、高校生の約60%が、1日2時間以上視聴しています。
- ・1日1時間以上に回答範囲を広げると、全体の約70%になります。映像視聴時間が、子どもの生活のかなりの割合を占めていると言えます。



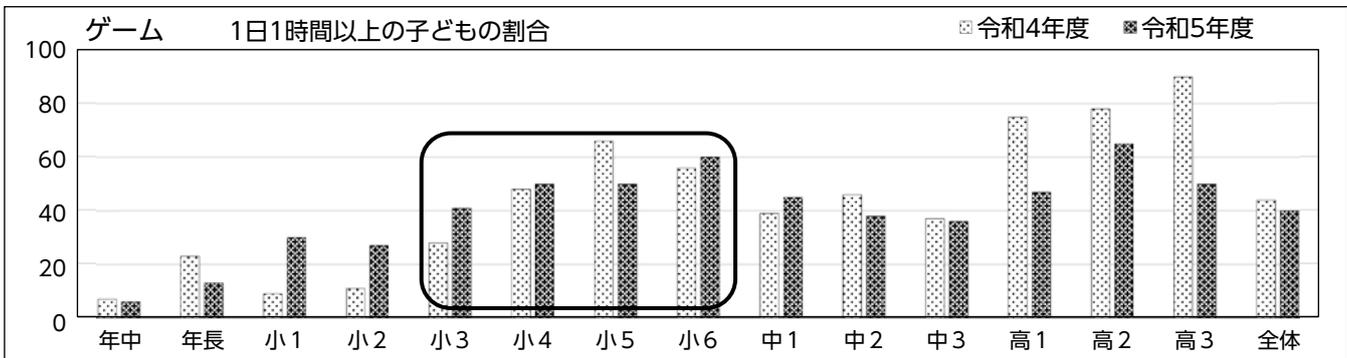
(2) スマートフォン・PC・タブレットの使用時間について

- ・小6から操作時間が増加し、特に高校生は、約80%が1日2時間以上使用しています。
- ・低学年も使用時間増加が見られました。また、1日4時間以上の子どもが全体で53人もいました。



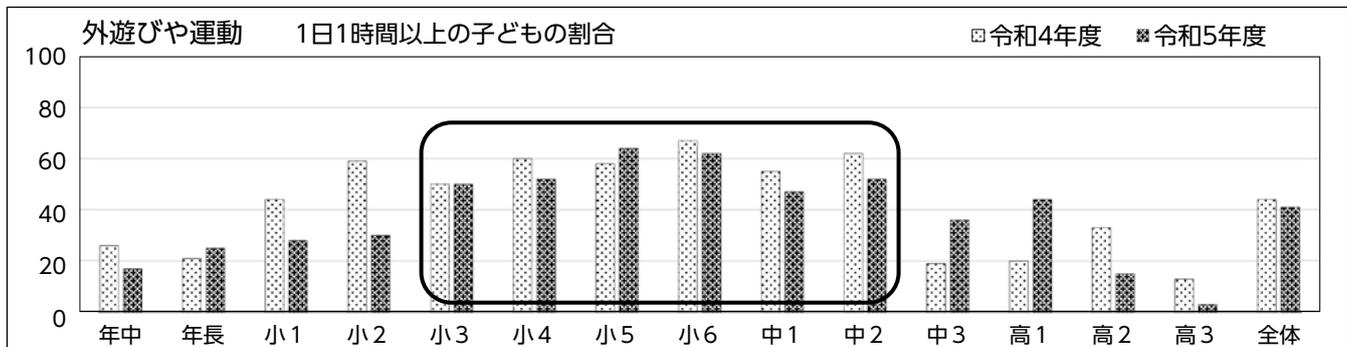
(3) ゲーム時間について

- ・昨年との比較では、小学生は増加、中学生は横ばい、高校生は減少しました。
- ・1日4時間以上が全体で33人もいました。ゲーム依存で不規則な生活になっていると考えられます。



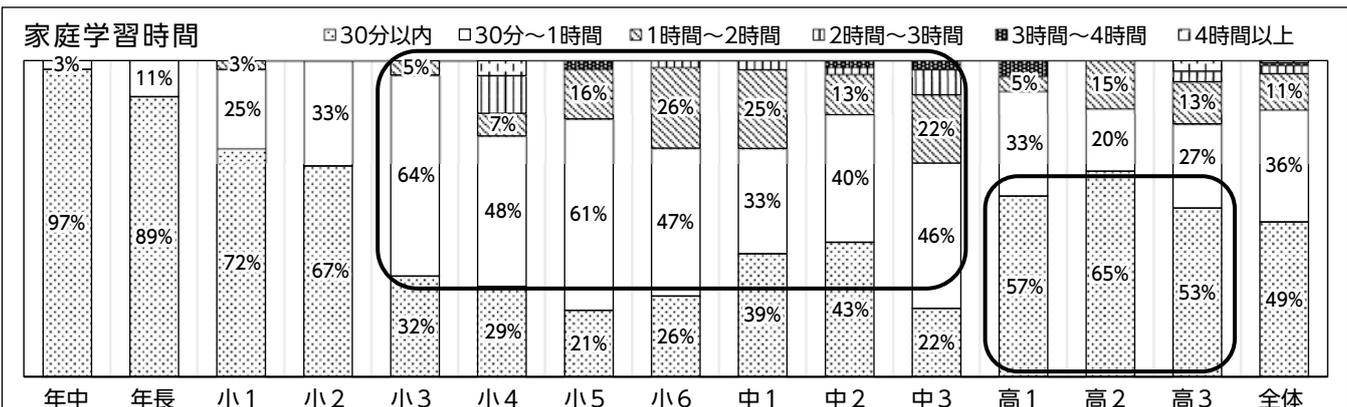
(4) 外遊びや運動の時間について (部活動・少年団活動を含む)

- ・1日1時間以上の子どもは、全体の40%でした。運動部に所属する子どもが多い学年の割合が高いです。
- ・1日30分以下の子どもは、全体の37%もいました。運動不足が心配です。



(5) 家庭学習時間について

- ・小3から中3まで、学年が上がるにつれて増加しています。家庭学習が定着している様子です。
- ・高校生の約60%が30分以内と回答しています。昨年と同様の結果で課題があります。



《設問3》メディア機器について

(1) メディア機器の所持率について (自分用・共用の割合%)

| | 携帯・スマホ | | パソコン | | タブレット | | ゲーム機 | |
|-------|----------------|-----|----------------|-----|----------------|-----|----------------|-----|
| | 自分用% | 共用% | 自分用% | 共用% | 自分用% | 共用% | 自分用% | 共用% |
| こども園 | 1 | 24 | 0 | 12 | 12 | 38 | 15 | 35 |
| 小・低学年 | 5 | 16 | 0 | 13 | 11 | 33 | 34 | 46 |
| 小・中学年 | 21 | 16 | 2 | 24 | 12 | 34 | 64 | 34 |
| 小・高学年 | 45 | 22 | 9 | 28 | 29 | 18 | 72 | 26 |
| 中学1年 | 64 | 17 | 3 | 42 | 28 | 31 | 72 | 28 |
| 中学2年 | 92 | 4 | 4 | 23 | 19 | 21 | 89 | 9 |
| 中学3年 | 81 | 3 | 16 | 35 | 30 | 3 | 65 | 24 |
| 高校1年 | 100 | 0 | 29 | 10 | 19 | 10 | 91 | 5 |
| 高校2年 | 95 | 5 | 25 | 20 | 40 | 0 | 55 | 25 |
| 高校3年 | 98 | 0 | 10 | 30 | 23 | 10 | 60 | 23 |
| 町全体 | 61% (288/474人) | | 30% (143/474人) | | 45% (212/476人) | | 86% (408/476人) | |
| 令和4年 | 67% | | 40% | | 48% | | 86% | |

(2) SNS利用状況 (複数回答)

| 順位 | SNSの種類 | 傾向 | 人数 |
|----|--------------|---------------|-----|
| 1位 | YouTube | 全体的に使用している。 | 394 |
| 2位 | LINE | 小5以上が多い。 | 220 |
| 3位 | オンラインゲーム | 全体的に使用している。 | 188 |
| 4位 | Tik Tok | 小5以上が多い。 | 172 |
| 5位 | Instagram | 中・高が多い。 | 150 |
| 6位 | 家庭学習 | 園・小・中が多い。 | 126 |
| 7位 | X (旧Twitter) | 中・高が多い。 | 124 |
| 8位 | Facebook | ほとんど利用されていない。 | 13 |

- ・スマートフォンの所持率は、小学校高学年から増加しています。中高生のほとんどが所持しています。
- ・家庭用パソコン、タブレットの所持率が下がっています。学校で個人用タブレットが与えられた影響と考えられます。
- ・ゲーム機の所持率は、ほとんどの家庭に1台の割合です。
- ・SNSの利用状況は、「家庭学習」の利用者が増加しています。
- ・家庭利用のルールを「決めていない」回答は、園児を除くと約100人でした。そのほとんどが中1以上です。特に高校生の60%がルールなく使用しています。
- ・「ネット使用で危険と感じた経験」の記述が減少しており、子どもたちの危険回避能力が高まってきた印象です。
- ・ネットは「人と仲良くなれる」利点があり、上手に使いこなせば、とても便利なものですが、危険地帯の入り口であることをしっかり認識し、保護者の責任において、ルールとマナーを教えた上で活用させることが大切です。
- ・「生成AI」については、今回調査しておりません。これから盛んに使用されることが考えられます。保護者の皆さんも、ぜひ学んでいただきたいと思います。

(3) 家庭利用のルール (複数回答)

| 順位 | ルールの内容 | 傾向 | 人数 |
|----|---|-----------|-----|
| 1位 | 個人情報を出さない。 | 小4以上が多い。 | 145 |
| 2位 | 利用時間を決める。 | 園・小・中が多い。 | 139 |
| 3位 | 知らない人とは交流しない。 | 全体的に多い。 | 101 |
| 4位 | 利用前にすることを決める。 | 園・小が多い。 | 90 |
| 5位 | 利用時刻を決める。 | 全体的に少ない。 | 41 |
| 番外 | 決めていない。 | 小6～高3が多い。 | 115 |
| 記述 | 課金をしない。親の同意を得る。親と一緒に操作。お風呂に持ち込まない。決めてはいるけど守らない。 | | |

(4) ネットの出来事 (4年生以上複数回答)

| 順位 | 設問 | 傾向 | 人数 |
|----|------------------|----------|----|
| 1位 | 知らない人と仲良くなった | 全体的に多い。 | 76 |
| 2位 | 知らない人に相談にのってもらった | 中・高が多い。 | 18 |
| 3位 | 友達や親戚とケンカをした | 小・中1が多い。 | 11 |
| 4位 | 知らない人とケンカをした | 中1に3人。 | 8 |
| 5位 | 知らない人に個人情報を聞かれた | 各学年に1人。 | 7 |
| 6位 | 学校や生活でトラブルが続いた | 中1に3人。 | 5 |

(5) ネットを危険と感じた経験 (子どもの記述のまとめ)

- ・不適切な広告バナーがある
 - ・ゲームの課金要求
 - ・ゲームであられる
 - ・アカウントの乗っ取り
 - ・誹謗中傷される
 - ・依存症になる
 - ・怖い書き込みがある
 - ・炎上する
 - ・知らない人の対応で困ること
- ①個人情報を聞かれる ②絡んでくる ③暴言を言われる ④通知が来る ⑤LINE登録要求 ⑥変な画像が来る

新春 書き初め大会

審査結果



1月9日町生涯学習センターあすばるで、新春書き初め大会が開催されました。講師の中野先生と半田先生に教わりながら、町内の幼児・小中学生22名が、気持ちを込めてのびのびと書き上げました。後日、講師による審査の結果、下記のとおり各賞が決定いたしましたのでご紹介します。

金賞

西山 なの〈標こ園〉 藤本 悠詩〈標小1年〉
 佐藤 誉〈標小2年〉 大石 辰季〈標小3年〉
 佐藤リイサ〈標小4年〉 阿部 涼葉〈標小5年〉
 古川 咲希〈標小6年〉 西山 実希〈標中2年〉
 滝本 憩〈川中3年〉

銀賞

細畑 美琴〈標こ園〉 今井龍之介〈標小1年〉
 古川 心春〈標小2年〉 大石 幸正〈標小4年〉

銅賞

大石 乃風〈標こ園〉 福岡 果〈川小1年〉
 藤本ひまり〈標小2年〉

奨励賞

田村 優來〈標こ園〉 佐藤 明〈標こ園〉
 田邊心叶羽〈標こ園〉 福岡 錬〈川こ園〉
 田邊 颯人〈標小2年〉 今井琥太郎〈標小2年〉

受賞されたみなさん、おめでとうございます。
 来年の参加もお待ちしています。

(氏名敬称略)

スマホ教室

LINE編

コミュニケーションアプリ「LINE」についての教室を下記のとおり開催します。ステップを2種類用意してありますので、お気軽にご参加ください。

- ◆と き：3月14日(木)
 - ・ステップ1 / 13:30~14:30
(登録・画面の見方・友だち登録・トークの練習)
 - ・ステップ2 / 15:00~16:00
(スタンプの送り方・写真の送り方や保存)
- ◆場 所：町生涯学習センターあすばる
町民活動室
- ◆講 師：NTT docomo 本間 玲子さん
- ◆参加料：1ステップ1,000円
- ◆定 員：各ステップ5名まで
- ◆申込み：3/1(金)までに下記二次元コードから、または直接あすばるまでお問い合わせください。



みそ作り講座

伝統的健康食品「みそ」を大豆から作る講座です。標津の鮭やチーズにも相性抜群！ぜひご参加ください。

- ◆と き：3月23日(出)12時~15時(事前準備)
3月24日(日)9時~14時(本仕込)
- ◆場 所：町生涯学習センターあすばる
調理室
- ◆講 師：みそ作りサークル
「ガールズクラブ1637」
- ◆参加料：4,000円
- ◆定 員：10名(町民・初心者の方優先です)
- ◆持ち物：エプロン・マスク・タオル・炊事用ゴム手袋・みそ用樽(15~20ℓ)・24日の昼食・飲料水
※樽は洗ってきてください
- ◆申込み：2/29(木)までに下記二次元コードから、または直接あすばるまでお問い合わせください。
- ◆お願い：衛生上、つけ爪や装飾品の装着はご遠慮ください。



イベント情報 2・3月分



| 事業日・行事名 | 期 日 | 開始時刻 | 対 象 | 会 場 |
|---------------------------------|--------------------|-------|--------|--------|
| 新春標津カップ小学生バレーボール大会 | 2月3日 | 9:00 | 小学生 | 総合体育館 |
| スポーツゲームスイン標津 「バドミントン教室」 | 2月4日 | 9:00 | 中高校生 | 総合体育館 |
| 第50回標津スプリント選手権大会兼 大菅小百合記念大会 | 2月4日 | 10:00 | 小中学生 | 町営リンク |
| スポーツ体験教室 | 2月5日・19日、3月4日11日 | 16:00 | 小中学生 | 総合体育館 |
| 管内スポーツクラブ実践交流会 | 2月6日 | 13:30 | 一般 | あすばる |
| エアロビクス教室(冬) | 2月6日・13日・20日・27日 | 19:30 | 幼小中一般 | 川北センター |
| こども元気アップ大作戦 | 2月7日・26日、3月18日・25日 | 9:00 | 園児 | 標津こども園 |
| 管内中学生学年別卓球大会 | 2月11日 | 9:00 | 中学生 | 総合体育館 |
| スポーツゲームスイン標津 「森田弘美氏バレーボール教室」 | 2月13日・14日 | 16:00 | 小中学生 | 総合体育館他 |
| 高齢者レクリエーションの集い | 2月14日 | 10:00 | 65歳以上 | あすばる |
| こども元気アップ大作戦(森田弘美氏) | 2月15日 | 9:30 | 園児 | 総合体育館 |
| ポー川スノーシュートレッキング体験 | 2月17日 | 9:30 | 一般 | ポー川 |
| スポレク広場 | 2月17日 | 18:00 | 幼小中高一般 | 総合体育館 |
| フットサルイン標津 | 2月18日 | 9:00 | 小中学生 | 総合体育館 |
| こども元気アップ大作戦 | 2月20日、3月5日・13日 | 9:30 | 園児 | 川北こども園 |
| あつまれスポーツの森 | 2月21日 | 16:00 | 小中学生 | 総合体育館 |
| スポーツゲームスイン標津 「卓球講習会」 | 2月24日 | 14:00 | 小中高 | 総合体育館 |
| | 2月25日 | 9:00 | | |
| スキー場まつり | 2月25日 | 10:00 | 幼小中高一般 | 金山スキー場 |
| 第40回室内ソフトテニス大会 | 3月10日 | 9:00 | 一般 | 総合体育館 |
| スマホ教室(LINE編)ステップ1 | 3月14日 | 13:30 | 一般 | あすばる |
| スマホ教室(LINE編)ステップ2 | | 15:00 | | |
| みそ作り講座 | 3月23日 | 12:00 | 一般 | あすばる |
| | 3月24日 | 9:00 | | |
| 少年活動リーダー研修会 | 3月25日～26日 | 1泊2日 | 川小5年生 | 川北センター |

功勞者表彰受賞 おめでとうございます

川嶋 靖子委員は、平成15年より標津町スポーツ推進委員として、本町のスポーツ振興にご尽力されてきました。長年の委員の活動が認められ、北海道スポーツ推進委員協議会より功勞者表彰を受賞されました。

川嶋委員におかれましては、今後益々、本町のスポーツ振興においてのご活躍をご祈念申し上げます。

